

座禅洞だより

■ 岐阜環境医学研究所・座禅洞診療所
 ● 呼吸器疾患・禁煙治療・漢方相談
 診 察 日：月曜・木曜・金曜
 受付時間：9:00~12:00、
 〒502-0017 岐阜市長良雄総878-16
 IP Tel:058-295-9545
 FAX:058-296-3903
 E-mail:zazendoh@cen.aitai.ne.jp
 http://zazendoh.town-web.net/
 185号 2019.8.1.
 毎月1回発行 座禅洞診療所 松井英介

自然とともに生きる

松井 英介



座禅洞診療所の外来には、何人か子どもの患者さんがいます。

学校が夏休みになったので、昨日、久しぶりに中学一年の男子・Y君が、顔を見せました。急に背が伸びたので、びっくりしました。Y君は小学校時代から陸上競技をやっています。長距離の選手です。夏休み入っても、朝7時からの練習はあるのです。でも、彼は練習を早めに切り上げてやってきました。「どうして？」と訊くと、「緑に包まれたこの診療所の雰囲気が入っている！」と。

それを聴いて、私はすっかりうれしくなりました。

私は、以前から、森の中に暮らせたいいなと考えていました。

そんなことを親しい友人、建築士の長田雅弘さんに話したら、こんなところがあるよ！と紹介してくれたのが、今のところでした。来てみると、樹々が切り払われ、整地された土地でした。焚火をした跡が、ちょっとがっかりした想いととも、印象に残っています。広い土地でしたので、集合住宅にでもなればいいなと考えて、何人かの知人に声をかけましたが、うまくいきませんでした。

雅弘さんの設計で、木と土壁の2階建てができ上がりました。隣接して平屋の診療所を造りました。家の周りに樹をたくさん植えました。すぐ隣に寺と神社があり、もともと山林だったところなので、年とともに森の中の山小屋という感じになってきました。夏は涼しく、冬は暖かい。断熱・遮音を考えた家のつくりと樹木のおかげです。

その雅弘さんが、7月18日に息をひきとりました。72歳でした。いつも雅弘さんと一緒に暮らしていると感じていましたので、不思議な感じでした。

雅弘さんは福島県で生まれ育ちました。両親と別れ、辛いことが重なり、高校のころ、キリスト教会に通うようになったそうです。3.11東電福島第一原発大惨事が起きたすぐ後の8月、私たちは一緒に福島を訪ねました。事故原発から約75kmほど離れた雅弘さんの故郷は、自然豊かな田園地帯でした。高校生の時に通学した川のほとりや親族の墓を訪ねました。地震で墓石が倒れたままになっていました。彼は高校卒業後、福井の大学で建築を学び、岐阜で建築設計事務所を開いてからも、教会の会員でした。彼の設計による教会や建物が岐阜にいくつもあります。

雅弘さんは絶えず中南米に出かけていました。そこには、大自然の中で自然とともに生き、いのちを大切にする人びととの出会いがあったのに違いありません。

雅弘さんは、今も私の中に、そしてこの森の家で生きているのです。